

世界遺産学習だより

大田市教育委員会石見銀山課

(世界遺産学習担当)

Tel 0854-82-1600(内線 338)

E-mail isan-gakushu@iwamigin.jp

仙ノ山本谷で竹林を伐採

ユネスコスクール島根中央高校が今年度2回目の環境保全活動

島根中央高校により、今年度2回目の環境保全活動が行われ、多数の高校生が汗を流しました。島根中央高校は、県下唯一のユネスコスクール。参加したのは1年生全員80名（午前）と2年生の地域創造コースと現代ビジネスコース29名（午後）。石見銀山ガイドの会と石見銀山課の応援もありました。

竹の伐採は、間歩が密集する本谷中ほどの釜屋間歩付近で行われました。男子はノコにより伐採。女子は枝の刈り払い。伐採後は昨年刈った竹も含めて、金生坑前までずりりと並んでリレー。そこではNPO法人「緑と水の連絡会議」のみなさんが、竹チップ製造機を据え、つぎつぎと竹を細断しました。竹チップは肥料にしたり、山道の舗装などに使われます。

釜屋間歩周辺では、数百本の竹が刈られ、今まで隠れていたいくつかの平坦地が、はっきりと見えるようになりました。

竹は、銀山柵内（鉱山地区）では25%を占め、土に埋もれた遺構を壊し、銀山の特徴ある景観を覆ってしまいま

す。竹の伐採に参加し、すっきりした遺跡を眺めて、自分たちの手で銀山を守り伝えていくんだという自覚が芽生えて来たように思いました



刈った竹を運び出す高校生

日本の世界遺産は増やして良いか？

愛知の中学生、石見銀山を題材に卒論



卒論を書いたのは、愛知県瀬戸市にある聖霊中学校3年木村紫帆さん。タイトルは「日本の世界遺産は増やして良いか」です。原稿用紙8枚にまとめました。

世界遺産の登録数は現在962件。毎年20~30件ずつ増加しています。わが国でも少しずつ増え、今は16カ所になっています。

木村さんは、安易な世界遺産の増加は、希少性が薄れ、世界遺産の価値が下がることにつながり、問題があると考えました。本当にそうなのか、世界遺産である石見銀山と合掌集落で有名な白川郷を例に実態を調べてみることにしました。本を読んだり、直接大田市と白川村にも手紙を出して取材をしました。石見銀山では、登録時の一時のブ

ームは過ぎ去り、観光客の数も落ち着いたものになった。しかし、地域の人々はそういうこととは、かわりなく、石見銀山に誇りを持ち、大切に守り、後世に伝えようがんばっていることを知りました。世界的に数は増えても、それぞれの地域にとっては、かけがえのない大切な遺産であることがわかったということです。

毎年、世界遺産委員会の厳しい審査で本当に大切なものが登録されるのは当然のこと、数の問題ではない、と結論づけています。

石見銀山学習の充実をめざして

大田市校長会 石見銀山学習担当 鎌田保夫

大田市内の小中学校が、石見銀山基金を活用させていただき、石見銀山学習を推進するようになって2カ年が経過しました。現地学習や体験を学習プログラムの中核として取り入れている石見銀山学習によって、児童・生徒は石見銀山に関わる歴史や文化に直にふれることができ、遺跡や景観のもつ世界遺産としての価値を実感しながら、ふるさとを愛する気持ちを高めてきているところです。

この石見銀山学習は、地域の特色を考慮しながらそれぞれの学校で推進していくために、実施する時期・学習時間・プログラム内容・位置づけの教科など、学校ごとに異なっています。このことは、大田市学校教育の重点「石見銀山学習を取り入れたふるさと教育の推進」に、「世界遺産である石見銀山遺跡を核とする地域の自然・文化遺産を貴重な教育資源として学習に取り入れ、ふるさと教育の充実に努めることが重要」とあるように、各校がふるさと教育を進めていく中で、地域性を生かし持続可能で効果的な石見銀山学習を、工夫改善しながら如何に進めていくかが大切な鍵となってくるところです。

そうした中で今年度は、石見銀山学習担当者説明会を開催して共通理解の場を設定したり、研修会を実施して石見銀山と各地域とのつながりについて学ぶ機会を持ったり、各学校の実践や資料をフォルダに集めて情報交流しやすいようにしたりするなど、よりよい石見銀山学習を市全体で共に考えながら推進できる体制が整ってきています。

世界の宝であり大田市の誇りである石見銀山を教育資源として活用できるこ

とは、とても恵まれたことであり幸せなことです。そのことを再認識しながら、ふるさとが大好きで楽しく学び合える石見銀山学習を充実させていきたいと考えます。



本物のガイドに学ぶ大森小の児童

石見銀山課からお知らせとお願い

■平成 25 年度石見銀山学習担当者会ご案内

○日時 平成 25 年 4 月 18 日(木) 午後 4 時～5 時 15 分

○場所 市役所 3 階第 2 会議室

○内容 研修講座「ユネスコの平和・人権精神と世界遺産」、銀山学習の手続き説明

○対象 大田市内の小中学校で銀山学習を担当される先生方

(詳細は、学校あてに送付した担当者会の案内をご覧ください)



□□□□□□□□□□□□□□□□ 銀山関係学習情報 □□□□□□□□□□□□□□□□

4/18 銀山学習担当者 研修講座「ユネスコの平和・人権精神と世界遺産」と銀山学習の手続き説明。

4/19 北三瓶中学校 1、2 年生 11 名。銀山公園から、温泉津沖泊道を踏破し、銀山地内への物資の輸送や銀の搬送の実態を体感する。歩行距離は約 13 km。最高地点は、降路坂の峠で約 430m。

4/23 島根中央高校 環境保全活動。地域創造コースと現代ビジネスコース専攻の 3 年生 30 人が参加。3 月と同じく仙ノ山本谷の釜屋間歩付近で竹林の伐採。

4/28 タケノコ採り大作戦 10 時、石見銀山世界遺産センター集合。参加費 500 円。定員 30 名。申し込みが必要。(詳しくは、石見銀山世界遺産センター公式 HP または大田市広報 4 月号をご覧ください)